

室内・家庭用

衣類乾燥除湿機

型番 IJC-P70

取扱説明書



もくじ

製品の特徴	2
安全上の注意	3
使用上の注意	5
各部の名称	6
基本的な使いかた	8
その他の機能	9
排水のしかた	10
お手入れ	11
・ 保管のしかた	12
・ 移動のしかた	12
こまったときは	13
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

はじめに

使いかた

お手入れ

こんなときには

日本国内専用 (FOR USE IN JAPAN ONLY)
保証書付 (裏表紙)

- このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
 - ご使用前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
 - この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう、大切に保管してください。
 - 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

製品の特徴

■衣類乾燥除湿機とは

室内に干した洗濯物は乾くまでに時間がかかります。屋外に干して乾燥できても、取り込む時間帯が遅くなると再び湿気を吸収してしまいます。

湿気を含んだ洗濯物には雑菌が繁殖したり、においがついたりします。また、室内に干した洗濯物から蒸発した水蒸気は、畳や床などに吸収されたり、壁や窓に結露したりします。

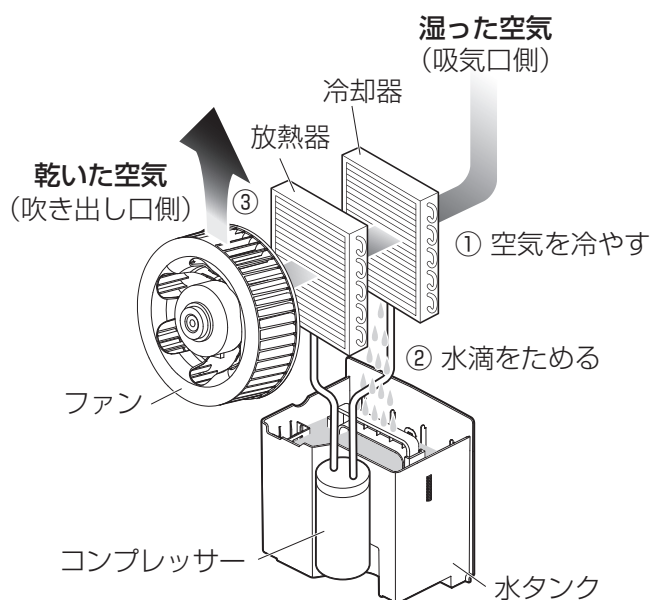
衣類乾燥除湿機は乾燥した空気を直接洗濯物に当てることですばやく衣類を乾燥させます。

さらに、除湿機の機能を活かして、衣類から蒸発した水分が他へ移る前にすばやく取り除き、かびや結露の発生を防ぎます。

■除湿のしくみ

本製品はコンプレッサー式除湿機のしくみを利用しています。

- ① 吸い込んだ空気を冷却器で冷やします。
- ② 空気中の水分は冷却器表面で結露し、水滴となって水タンクにたまります。
- ③ 冷却器で奪った熱は、放熱器で除湿された空気に戻されます。



室温が上がります

本製品は冷房機器ではありません。
閉め切った部屋で使用すると、室温が上昇します。
また、直射日光や他の家電から出る熱があると、より室温が上昇する場合があります。

停止後に送風運転します

除湿運転の停止後、内部の乾燥のために送風運転を行います。(約1時間)
送風運転中は電源プラグを抜かないでください。

除湿量について

室内の温度や湿度によっては、除湿しなかったり、除湿量が減少することがあります。

室温が低いとき

- ・本製品は室温15～30℃で効率よく除湿できるように設計してあります。室温が低いときには、吸気と冷却器の温度差が小さく結露しにくいため、除湿量も減少します。

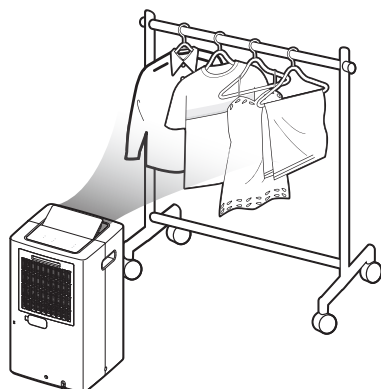
湿度が低いとき

- ・部屋の湿度が低いときには、空気中の水分量が少ないため、除湿量も減少します。

上手な使いかた

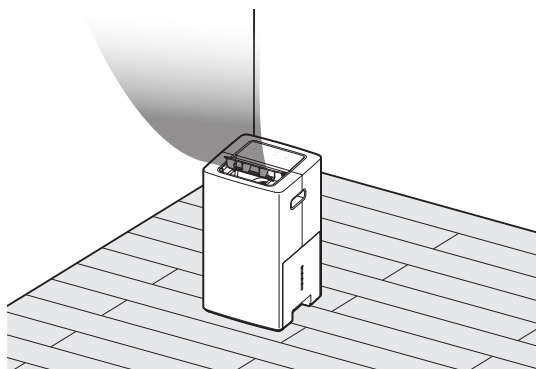
洗濯物を乾かすとき

- ・除湿された風が洗濯物に当たるように、ルーバーで風向きを調節します。



部屋の湿気を取るとき

- ・除湿された風が部屋全体に循環するような位置に設置します。



安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う
おそれがある内容を示しています。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良に
なり、火災・感電の原因になります。

- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に
差し込む

ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動するときは、必
ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。
ただし、運転停止後の送風運転中（約1時
間）は、電源プラグを抜かないでください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをし
ない

感電・やけど・けがの原因になります。



- 電源コードや電源プラグが傷んだり、
コンセントの差し込みがゆるいときは
使わない

ショートによる火災・感電の原因になりま
す。電源コードが破損したときは、修理専
用コールへお問い合わせください。



- 電源コードを束ねて通電しない
過熱して火災・やけどの原因になります。
電源コードは、必ずのばして使用してくだ
さい。

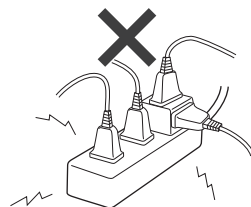
- 電源コードを傷付けない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを
引っ張らない

傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ
張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込
むなどしないでください。

電源コードが破損し、火災・感電の原因に
なります。

- コンセントや延
長コードなどの
定格を超える使
いかたをしない

火災の原因になり
ます。



- 交流100V以外では使わない
火災・感電の原因になります。

- 乳幼児に電源プラグを触らせない
感電やけがの原因になります。



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは
危険です。

修理については、お買い上げの販売店また
は修理専用コールにご相談ください。



- 屋外では使用しない
火災・感電の原因になります。
- 押し入れや家具の隙間など、狭い場所
で使用しない
- 風の流れをさえぎるようなものの周囲
で使用しない
- ほこり、粉じんの多い場所で使用しない
過熱して火災の原因になります。



- 除湿・衣類乾燥以外の用途に使用しない
異常動作・火災の原因になります。

- 業務用など家庭用以外の用途に使用し
ない

本製品は家庭用として設計されています。
業務用など家庭用以外の用途に使用す
ると、火災などの原因になります。



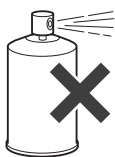
水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など水のかかる場所
では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけ
たりしない
火災・感電の原因になります。

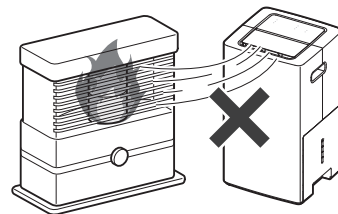
安全上の注意 つづき



- スプレーを近くで使用しない
(殺虫剤、整髪料、潤滑油など)
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
火災の原因になります。



- 風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない
不完全燃焼や炎の飛散を引き起こし、一酸化炭素中毒や火災の原因になります。



- 火気の近くで使用しない
火災や誤動作の原因になります。



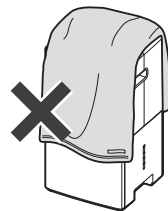
プラグを抜く

- 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。
〔異常の例〕
 - ・ 異常な音やにおいがする
 - ・ 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - ・ 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - ・ 運転中時々電源が切れる
 - ・ 触れるとビリビリ電気を感じる
- ➔ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



- 吹き出し口・吸気口、水タンク挿入部の奥などの隙間にもものや手を入れない
感電やけがの原因になります。

- 吹き出し口・吸気口を、布や紙、ビニール袋などでおおったりふさいだりして運転しない
過熱して火災の原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



- 水平で安定した床の上で使用する
不安定な場所・テーブルの上などで使用すると、転倒してけがをしたり、周囲の物品を破損する原因になります。



- 子どもなど取り扱いに不慣れな人だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
- 乗ったり寄りかかったりしない
感電・やけど・けがなどの原因になります。



- 強い衝撃を与えない
故障して、火災・感電の原因になります。



- 食品・医薬品・美術品・学術資料の保存など、業務用・特殊用途に使わない
保存品の劣化の原因になります。家庭用でするので、業務用・特殊用途には使用しないでください。

- 除湿した水を飲料用・飼育用・栽培用などに使用しない
健康を害したり、害を及ぼしたりするおそれがあります。

移動するときは



- 引きずって移動しない
畳・床に傷が付く原因になります。
取っ手を持って、持ち上げて移動してください。



- 運転を停止し電源プラグを抜いて、水タンクの水を捨てる
感電・火災、また漏水による周囲の汚損の原因になります。



- 煙や霧が出るくん煙タイプの殺虫剤を使うときは運転しない
除湿機内部に薬剤成分が蓄積し、その後の運転で放出されて、健康を害する原因になります。
殺虫剤の使用後は、十分換気をしてから運転してください。



- エアフィルターや水タンクを取り付けずに運転しない
けが・感電・火災の原因になります。

- 水タンクのフロートを外さない
運転できなくなったり、水があふれて周囲の汚損の原因になります。



- 風を直接身体に当てない
特に、小さなお子様やお年寄りにはご注意ください。体調が悪化したり健康を害する原因になります。

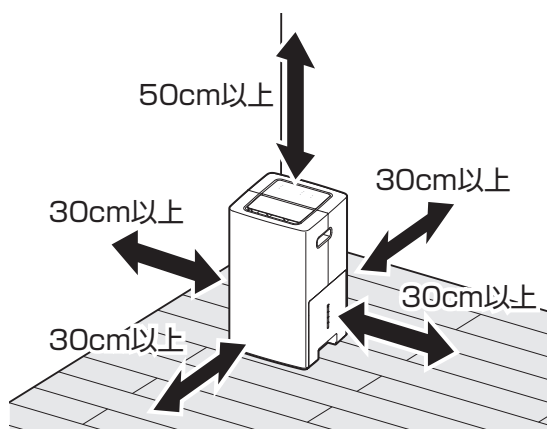
- 動植物に直接風を当てない
害を与えるおそれがあります。



- 水タンクに水をためたまま長期間放置しない
異臭や周囲の空気汚れの原因になります。

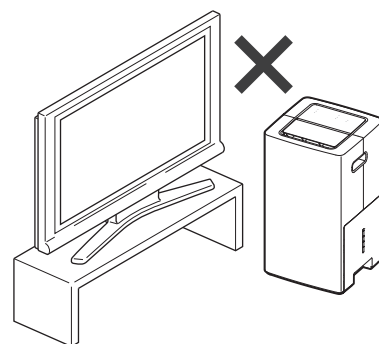
使用上の注意

- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を離してください。
過熱・火災の原因になります

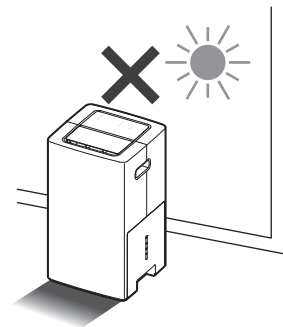


- なるべく閉め切った部屋で使用してください。
運転中に窓や出入り口を開閉して湿った空気が室内に入ると、部屋の湿度が下がりづらいことがあります。

- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- 直射日光やエアコン・暖房器具の温風が当たらない所に設置してください。
変形・変色したり、センサーが温度・湿度を感知できずに誤動作する場合があります。



安全装置について

● 切り忘れ防止装置

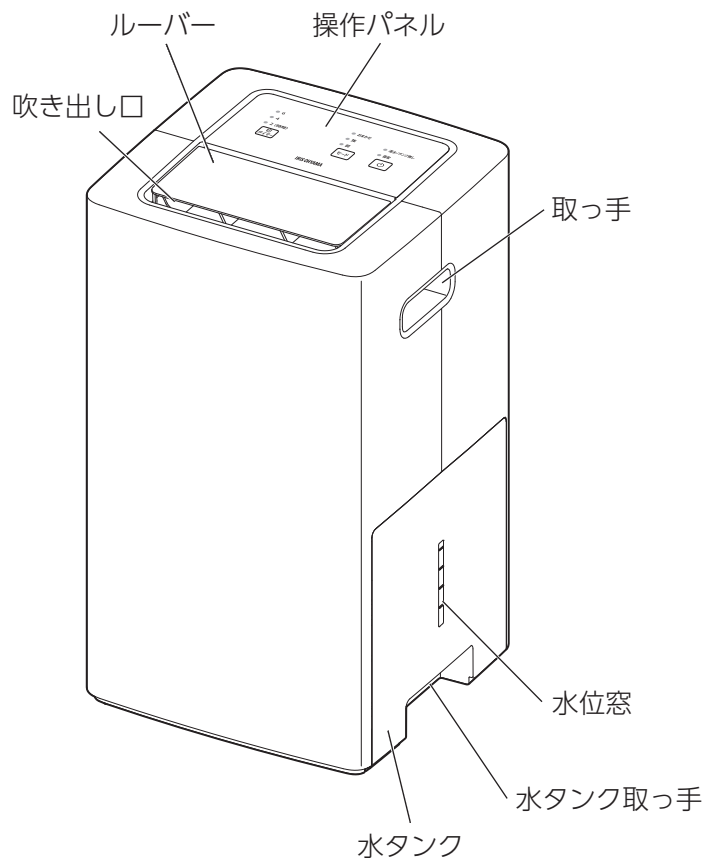
何も操作をしない状態が24時間つづくと、自動的に電源が切れて運転を停止します。
切り忘れ防止装置が働いたときは、**電源 切/入** ボタンを押すと運転を再開します。

● 3分間保護機能

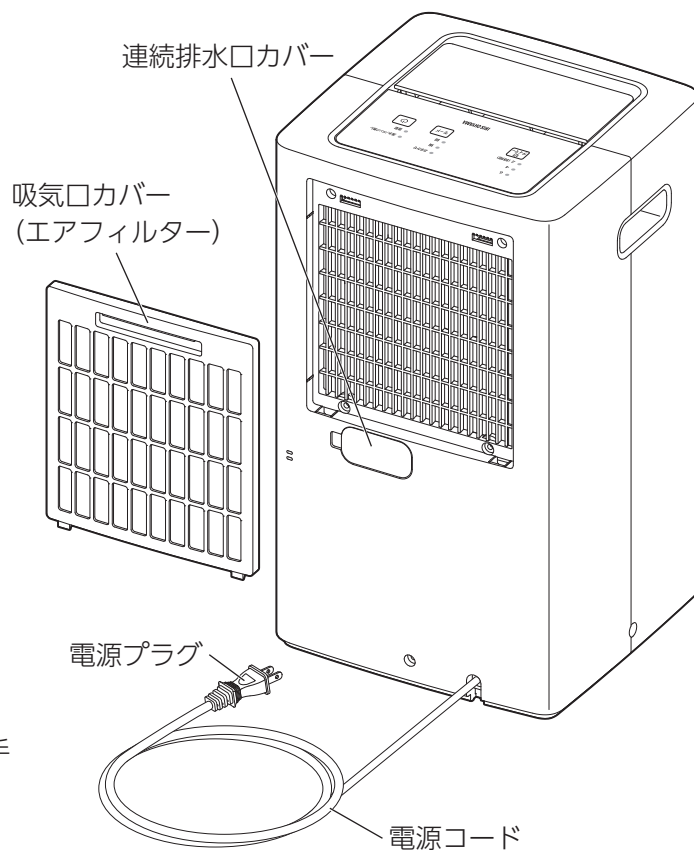
運転停止後すぐに電源を入にするとランプが点灯してファンは運転をしますが、コンプレッサーはすぐに運転しません。3分経つとコンプレッサーの運転を再開します。

各部の名称

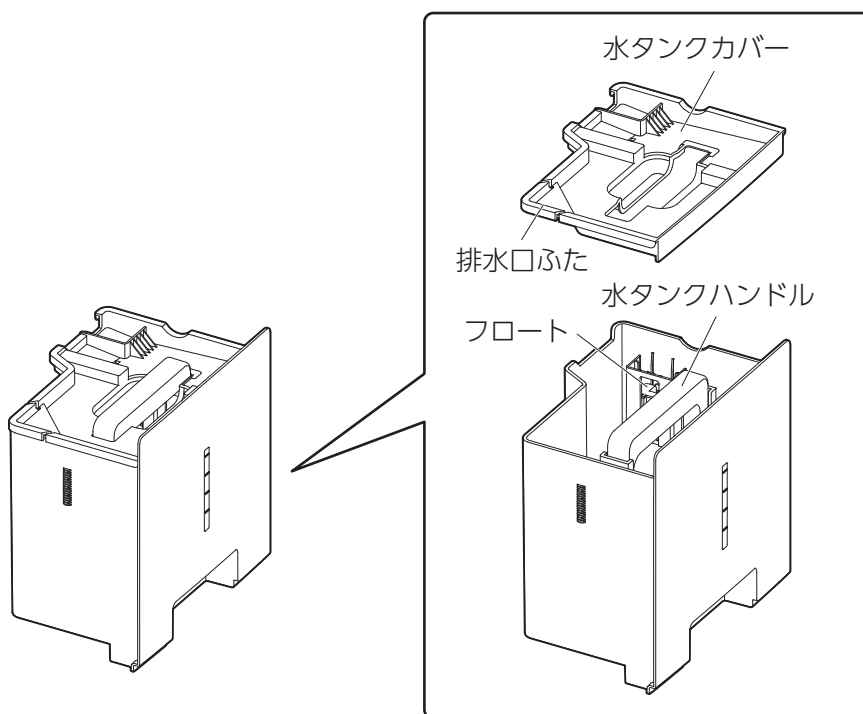
■正面



■背面



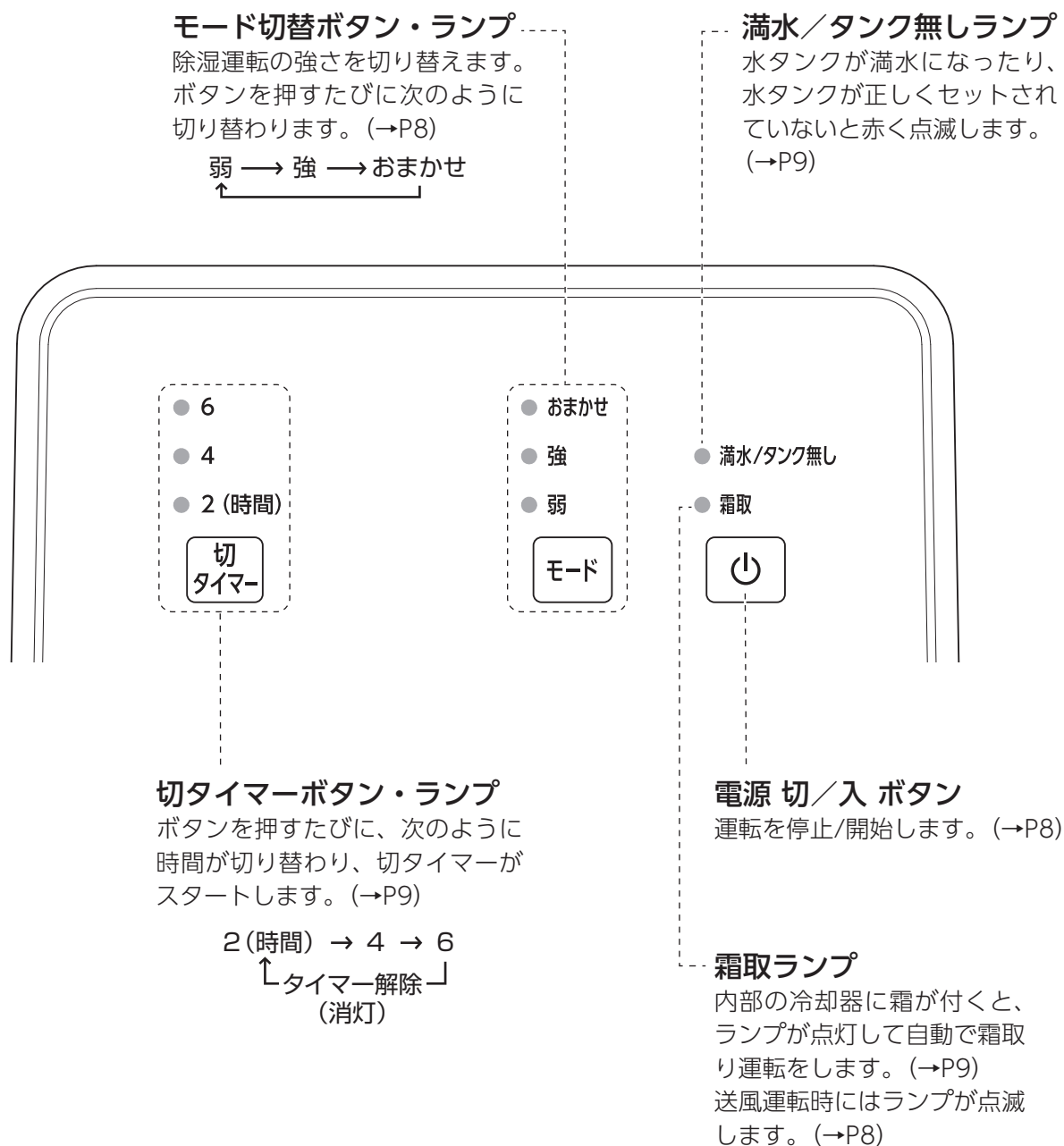
■水タンク



お知らせ

工場での除湿テストで水タンクに水が残っている場合がありますが、異常ではありません。

操作パネル

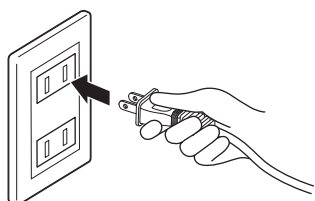


基本的な使いかた

- 水タンクが本体に確実にセットされていることを確認してください。水タンクが正しくセットされていないと、**満水／タンク無しランプ**が点滅し、運転できません。

※ 何も操作しない状態が24時間つづくと、切り忘れ防止装置（→P5）により自動的に電源が切れて運転を停止します。

1 電源プラグをコンセントに差し込む

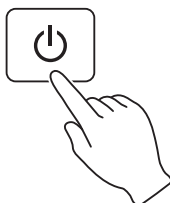


2 電源 切／入 ボタンを押す

初回運転時は**弱**モードで運転を開始します。

- おまかせ
- 強
- 点灯 ● 弱

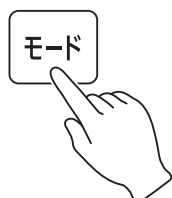
モード



3 モード切替ボタンを押して、好みの運転を選ぶ

モード切替ボタンを押すたびに除湿のモード（強さ）が切り替わります。

- **おまかせ**：部屋の湿度が50%より高い場合は除湿を行い、低い場合は自動的に送風に切り替わります。
- **強**：最大能力で除湿運転します。
- **弱**：運転音をできるだけ抑えて除湿運転します。

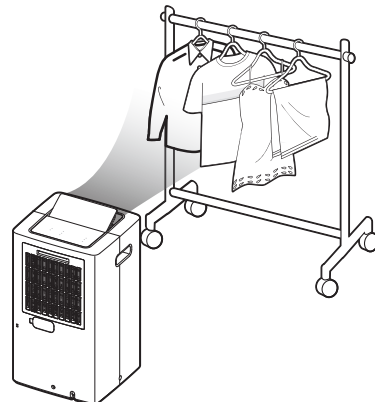


弱 → 強 → おまかせ

※ どのモードで運転していても、湿度が約20%を下回ると**弱**ランプが点滅し、運転を自動的に休止します。

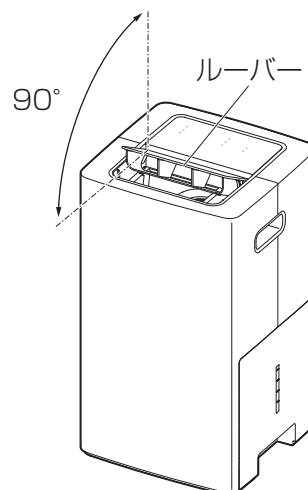
4 洗濯物などに向けて風向きを調節する

- **左右**：本体ごと動かして左右の向きを変えてください。



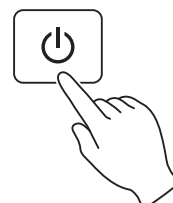
- **上下**：ルーバーを水平～90°の範囲で手で動かして調節してください。

※ルーバーは開けて使用してください。



運転を停止するには

運転中に**電源 切／入** ボタンを押すことで、運転を停止します。



- 運転の停止後、内部の冷却・乾燥のために自動的に送風運転を行い、約1時間後に自動的に停止します。
- 送風運転中は**霜取**ランプが点滅します。
送風運転中は電源プラグを抜かないでください。

点滅  霜取

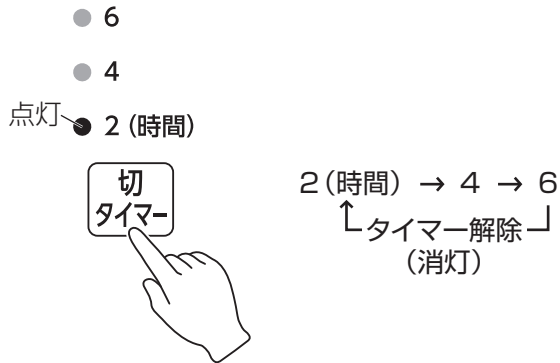
- 送風運転を途中で停止する場合は、**電源 切／入** ボタンを押してください。

その他の機能

切タイマー

切タイマーを使うと、設定した時間後に運転を停止することができます。

- 切タイマーボタンを押すたびに、切タイマーランプが切り替わり、切タイマーがスタートします。



※ 水タンクが満水になる、または水タンクを取り外すと、満水／タンク無しランプが点滅し、切タイマーも中断します。空になった水タンクをセットすると、切タイマーは中断したところから残り時間をカウントします。

※ 電源 切／入 ボタンを押す、または電源プラグを抜くと、切タイマーは解除されます。

満水 / タンク無しランプが点滅したら

水タンクが満水になると、満水／タンク無しランプが点滅して運転を停止します。



- 水タンクを取り出して排水してください。空になった水タンクをセットすると、停止前の状態で運転を再開します。

霜取ランプが点灯したら

室温が低くなると、本体内部に霜が発生することがあります。霜が発生したときは自動で霜取り運転をします。

- 霜取り運転中は霜取ランプが点灯して除湿は停止します。
- 霜取り運転中はファンが回ります。



- 霜取り運転が終了すると、霜取ランプは消灯して除湿運転を再開します。

※ 霜取り運転の時間は環境により異なります。

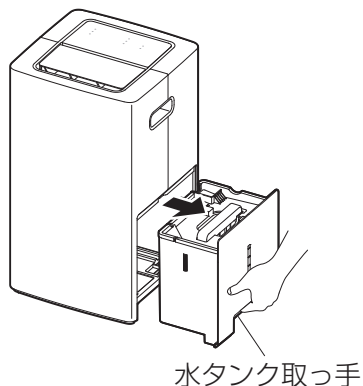
排水のしかた

排水のしかた

1 水タンクをゆっくり取り出す

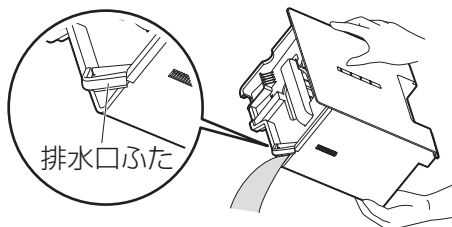
水タンク取っ手に手をかけて、水をこぼさないようにゆっくり引き出してください。

※ 本体内部に水がこぼれていたら拭き取ってください。

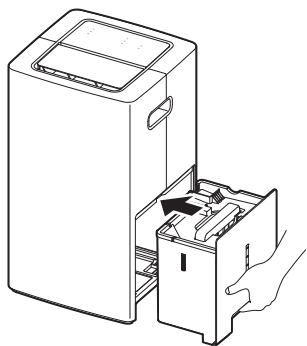


2 水を捨てる

水タンク後側、排水口ふたを開けてゆっくり排水してください。一気に排水しようとする、排水口以外の部分から水がこぼれることがあります。



3 水タンクを本体にセットする



- 水タンクを正しく奥までセットしないと運転しません。
- 水タンクの水はこまめに捨ててください。放置しておくと、雑菌の繁殖やにおいの原因になります。
- 移動・運搬などの後、初めて使用するとき、満水／タンク無しランプが点滅して運転できないことがあります。このようなときは、一度水タンクを取り外して、再度取り付けると運転できるようになります。

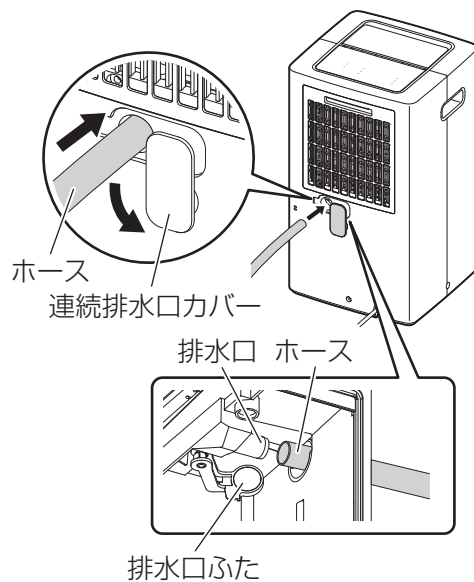
連続排水のしかた

市販のホースを接続して排水すると、水タンクに水をためずに連続で除湿できます。

ホースは内径φ15mmのものを使用してください。連続排水中も切り忘れ防止装置（→P5）により、何も操作をしない状態が24時間つづく自動的に電源が切れて運転を停止します。

1 本体背面の連続排水口カバーを外してホースを差し込む

- ・ ホースが確実に排水口に差し込まれていることを確認してください。

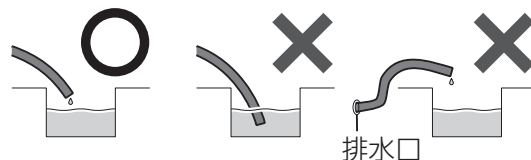


※ホースを排水口の奥まで確実に差し込んでください。

2 ホースのもう一方は確実に排水できる場所に向ける

- ・ ホースを排水口より高い位置に持ち上げたり、ホースの先端を水の中に入れないでください。排水できなくなり、水もれの原因になります。

※ 連続排水中も、水タンクに少量の水がたまる場合があります。



連続排水をやめて元へ戻す場合

ホースを排水口から抜いて、連続排水口カバーを閉じてください。

お手入れ

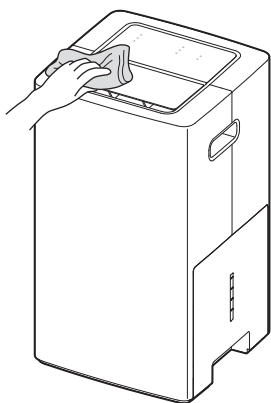
- シンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性・酸性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

本体

1か月に1回

水またはぬるま湯（40℃以下）を含ませた柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取る

※汚れが落ちにくいときは、薄めた中性洗剤を含ませた布で拭いた後、固く絞った布などで洗剤分を拭き取ってください。

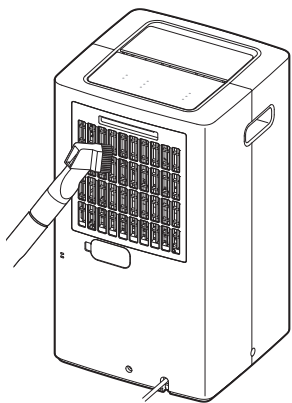


吸気口カバー

1か月に1回

掃除機などでごみを吸い取る

- ・吸気口カバーにごみがたまると風量が低下します。掃除機などで外側からごみを吸い取ってください。

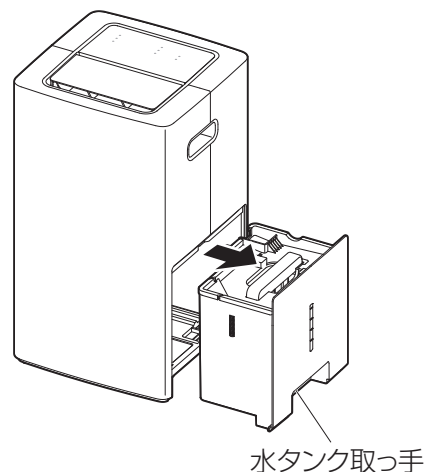


- エアフィルターは破損しないように注意してください。破れやすいので、強く洗わないでください。

水タンク

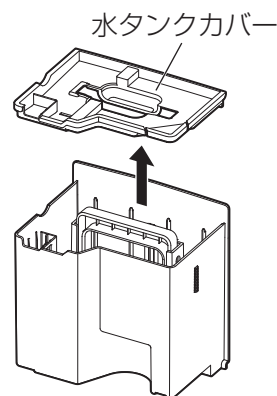
1か月に1回

- 1 水タンクを引き出し、水を捨てる
P10の手順にしたがって排水してください。



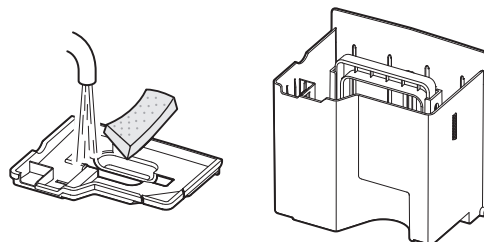
- 2 水タンクカバーを外す

水タンクカバーを上を持ち上げて外します。



- 3 水洗いする

水タンク内にごみや異物があったときは、洗い流してください。



- ・洗った後は水をよく拭き取って、よく乾かしてください。

使いかた

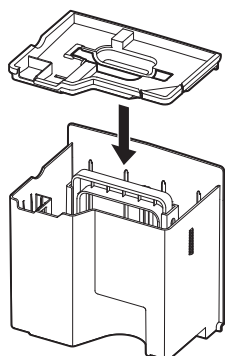
お手入れ

つづく→

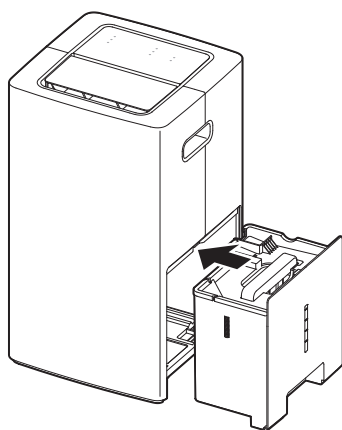
お手入れ つづき

4 水タンクカバーを取り付ける

水タンクカバーをしっかりと取り付けてください。

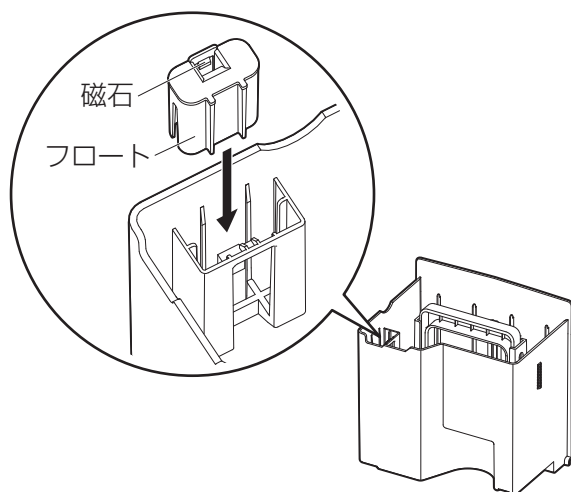


5 水タンクをセットする



フロートが外れたときは

フロートが外れてしまった場合は、向きに気をつけて取り付けてください。



■保管のしかた

長期間使用しない場合は、以下の手順で保管してください。

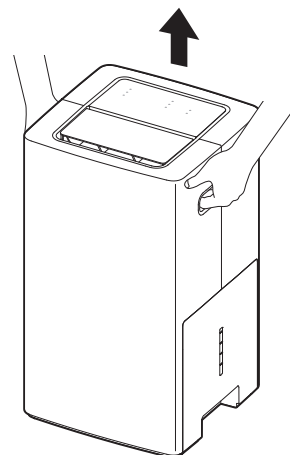
- 1 運転を停止した後、電源プラグを抜き、半日程度たってから水タンクを取り出して排水する
- 2 本体・水タンク・吸気口カバー（エアフィルター）をお手入れの手順にしたがってお手入れする（→P11、12）
- 3 本体・水タンクを十分乾燥させてから、ほこりが入らないように、梱包箱またはポリ袋に入れる
- 4 直射日光が当たらず、湿気の少ない場所に立てたまま収納する

●長期間保管後、使い始めるときも、点検・お手入れをして清潔な状態でご使用ください。

■移動のしかた

●移動するときは電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてしばらくおき、水タンクを取り出して、排水してから動かしてください。

取っ手を持って、持ち上げてください。



こまったときは

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みの上、下記の点を確認してください。

こんなとき	理由・処置
運転しない	●電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない。 →電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。(→P8)
	●運転停止直後に、再度電源を入にした。 →「3分間保護機能」が働いたため、3分経つと運転を再開します。(→P5)
運転しない (満水／タンク無し ランプが点滅して いる)	●水タンクが満水になっている。 →水タンクの水を捨ててください。
	●水タンクが正しくセットされていない。 →水タンクを本体に正しくセットしてください。
	●水タンク内のフロートが外れている。 →フロートを正しく取り付けてください。(→P12)。
運転しない (霜取ランプが 点灯している)	●霜取り運転を行っている。 →霜取り運転が終了すると、再び除湿運転します。
運転しない (弱ランプが点滅する)	●低湿度(湿度が約20%より低いとき)のため運転が止まっている。 →部屋の環境悪化防止のため、運転を自動的に休止します。
運転しない (霜取ランプが 数時間消灯しない)	●室温が低すぎる。 →本製品が効率よく除湿できるのは15～30℃です。適切な室温でご使用ください。
運転が止まった	●24時間何も操作をしなかったため、切り忘れ防止装置が働いた。 →電源 切/入 ボタンを押すと運転を再開します。
運転音大きい	●エアフィルターが詰まっている。 →吸気口カバー(エアフィルター)を外して、掃除機などで掃除してください。(→P11)
	●設置が悪く、がたついている。 →水平で安定した場所に設置してください。
除湿しない、 除湿量が少ない	●エアフィルターが詰まっている。 →吸気口カバー(エアフィルター)を外して、掃除機などで掃除してください。(→P11)
	●吸気口・吹き出し口がふさがれている。 →ふさいでいるものを取り除いてください。
	●湿度(相対湿度)が低い。 ●絶対湿度(空気中に含まれる水分量)が低い。 →温度が高くなるに伴って湿度(相対湿度)が低くなる、または温度が低くなるに伴って空気中の水分量(絶対湿度)が低くなると、除湿しなかったり、除湿量が少なくなったりします。
	●ルーバーを閉じて使用している。 →ルーバーは開けて使用してください。

※ 相対湿度：空気中に含むことのできる最大の水分量に対する、現在の水分量の割合(温度によって異なる)
絶対湿度：空気1m³中に含まれる水分量

こまったときは つづき

こんなとき	理由・処置
湿度が 下がらない	● 部屋が広すぎる。 →適切な広さの部屋で使用してください。(→P15)
	● 窓や出入り口の開閉が多い。または開いている。 →窓や出入り口の開閉を控えてください。また、開いているときは閉めてください。
	● 石油ストーブなど水蒸気の出るものを使用している。 →水蒸気の出る暖房器具と一緒に使用することはできるだけ控えてください。
床がぬれる	● 本体が傾いている。 →水平で安定した場所に設置してください。
	● 水タンクに水が入ったまま移動した。 →移動するときは水タンクの水を捨ててください。
	● 水タンク内のフロートが外れている。 →フロートを正しく取り付けてください。(→P12)
	● 運転停止後すぐに水タンクを取り出した。 →排水口に残っている水滴が落ち切るまで待ってから水タンクを取り出してください。
	● 水タンクカバーが正しくはまっていない。 →水タンクカバーを正しく取り付けてください。
運転中、 部屋の温度が上がる	● 閉め切った部屋で運転すると、放熱のため室温が上昇する。 →除湿のしくみによるもので、異常ではありません。
運転が止まらない	● 除湿運転後、送風運転を行っている。 →除湿運転終了後、約1時間で送風運転は停止します。(→P8)
吹き出し口から においがする	● 本体内部に、においの元になるものが蓄積している。 ・室内のにおい(生活臭) ・新しい家具、壁紙 ・ヘアスプレー、整髪料、化粧品、薬品など。 →部屋を十分に換気して、定期的にエアフィルターや水タンク、本体のお手入れを行ってください。(→P11、12) →使い始めは、本体内部の部品(プラスチック、金属など)のにおいがすることがありますが、使用とともになくなります。
操作していないのに 風量が上がった	● 高温・高湿のため、保護装置が働いた。 →高温・高湿のときは、保護装置が働いて風量が上がることがあります。温度・湿度が下がると元に戻ります。

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

● ご自分で分解・修理・改造をしないでください。

廃棄について

● 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

冷媒に関するご注意



この家庭用除湿機にはCO₂(温暖化ガス)129kgに相当するフロン類(R-134a)が封入されています。地球温暖化防止のため、廃棄にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。お住まいの地域の方法にしたがい廃棄してください。フロン類に関するお問い合わせは、アイリスコールへお願いいたします。

仕様

定格電圧		AC100V	
定格周波数		50Hz	60Hz
定格消費電力		180W	190W
定格除湿能力※1		5.9L/日	7.3L/日
除湿可能面積の目安※2	木造	7畳 (12㎡)	9畳 (15㎡)
	プレハブ	11畳 (19㎡)	14畳 (23㎡)
	鉄筋コンクリート	15畳 (25㎡)	18畳 (30㎡)
水タンク容量		約2.5L	
電源コード長		約2m	
製品寸法		幅244×奥行233×高さ430mm	
製品質量		8.3kg	

※1 定格除湿能力は、室温27℃、相対湿度60%を維持し続けた時の1日(24時間)あたりの除湿量です。

※2 除湿可能面積の目安は、JEMA (日本電機工業会) 規格に基づいた数値です。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

愛情点検

こんな症状はありませんか

- 電源 切／入ボタンを押しても何も反応しない
- 電源コードが折れ曲がったり、破損している
- 電源コードに触れると電源が切れたり入ったりする
- 本体から焦げ臭いにおいがする

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検を依頼してください。

15

こんなときは

衣類乾燥除湿機 IJC-P70

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、消耗品（エアフィルターなど）を除く	
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
電話 () -		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <https://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ（通話料無料）

修理に関するお問い合わせ（通話料無料）

アイリスコール

0120-311-564

修理専用コール

0800-170-7070

9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く） 9:00～17:00（年末年始・会社都合による休日を除く）

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・ご購入履歴のわかるもの・メモのご用意をお願いします。

お客様サポート
24時間365日
Web即時回答サービス

